

MESA/BOOGIE[®]

HIGH-WIRE[™]
DUAL BUFFER / OUTPUT BOOST

取扱説明書

安全上の注意：

- ・ この取扱説明書をよくお読み下さい。
- ・ この取扱説明書に従って下さい。
- ・ 全ての注意書きや警告にご注意下さい。
- ・ 本商品を水分の近くで使用しないで下さい。
- ・ 本商品を掃除するときは乾いた布のみを使用して下さい。
- ・ 今後も参照して頂けるようにこの取扱説明書を保管しておいて下さい。
- ・ 本商品の誤った接続やアース接続による故障は保障の対象外となります。
- ・ 本商品には単独で入手できない部品や、また静電気によるダメージを受けやすい部品が使用されていますのでご注意ください。
- ・ 必ず、正しい極性/電圧/電流が得られる電源アダプターやユニバーサルタイプのペダルボード・パワーサプライのみを使用して下さい。それ以外を使用した場合、音質や商品の性能が損なわれたり、または商品にダメージを受けることがあります！詳しくは、コントロールと接続についての項目や、仕様の項目をお読み下さい。
- ・ 安全のため、電源プラグのアースピンでアースを取るようにして下さい。

この度はMESA/Boogie®の製品をお買い上げ頂きありがとうございます。そしてMESAファミリーへようこそ！ 素晴らしいものへの変わらぬ情熱と品質についての責任、そして顧客が満足を得ることへの献身性が、我々が米国カリフォルニア州のペタルマに唯一の場所で製造するそれぞれ全ての製品に息づいています。ご安心頂きたいのが、世界でも最高級のアンプをハンドビルドで製造しているのと同じ人々が今あなたがお持ちのHIRE-WIRE DUAL BUFFER/OUTPUT BOOSTを作っており、MESAの全ての顧客と同様のサービスを得ることが出来ます。

HIRE-WIRE™ DUAL BUFFER/OUTPUT BOOST

HIRE-WIRE™ DUAL BUFFER/OUTPUT BOOSTは、素早くそして簡単に、ギタリストが直面する根深い信号ロスや不安定なトーンの問題を解決することが出来ます。問題の理由としては、容量負荷/抵抗負荷やミスマッチ、そしていくつかの異なるエフェクターや接続するケーブルを使用することによるピックアップの共鳴周波数やピークの変化などです。ギター機材の中で、安定した抵抗やソースがインプット・バッファーとアウトプット・ラインドライバそれぞれを通じて供給されることによってそれは可能になります。2つの回路はエフェクトループを形成するので、それによってギターとアンプはペダルボード上の影響から切り離され、たくさんのエフェクトペダルを接続したり、ステージ上のアンプへ長めのケーブルを使って接続することが簡単に出来ます。インプット・バッファーはギターのハイ・インピーダンス信号をロー・インピーダンス信号に変換し、ノイズや干渉、またトゥルーバイパス仕様のペダルについてまわるスイッチのポップノイズの影響を最小限に留めることも出来ます。アウトプット・ラインドライバは、通常たくさんペダルを接続したり、他のバッファーを使用しても実現出来ないような非常に長いケーブルをステージ上のアンプとの接続に使用することが出来ます。結果、サウンドやトーンのバリエーションは実際のエフェクトペダルの効果によって形成され、ギターやアンプからの負荷、またはインピーダンスのミスマッチによる問題の影響を受けなくなります。

インプット・バッファーは100%ディスクリート・クラスA回路となっており、インプット・インピーダンスや他の微細なキャラクターは高品質チューブアンプのそれに準じており、またRFI(=Radio Frequency Interference 無線周波数干渉)フィルターを搭載しているため、無線の干渉やノイズ混入の

可能性を最小限に留めます。またギターに理想的な、安定した抵抗を供給するためトーンが安定し、また同時にチューブアンプ直で接続したような生き生きとしたサウンドが得られます。

アウトプット・ラインドライバーの回路は、シールドされた1/4" TS楽器用ケーブルで、非常に長いアンバランスの信号(ケーブル)を接続することが出来ます。またフィクストタイプのブースト・ミニトグルスイッチとストンプスイッチを装備しています。ストンプスイッチは、ステージ上のアンプへの信号レベルを若干増幅することが出来ます(信号ロスや、様々なギターを使用する場合の音量の補填を行います)。また、アンプのインプットのブーストとしても使用出来ます！

2つの機能を持つストンプスイッチですが、レベル設定可能なブースト機能の他に、サイレント・チューニングやギターを交換する際のミュートスイッチにもなります。ブーストを行うには、まずBOOSTノブでレベル設定を行ってから、ストンプスイッチを1回踏むと、青色LEDが点灯しブーストがONになります。ストンプスイッチをもう1回踏むとOFFになります。ミュートをONにするには、ストンプスイッチを踏み込んだ状態でそのまま約1秒ほどホールドします。赤色のMUTE LEDが点灯するとミュートがONになったことを示します。ストンプスイッチをもう1度踏むとミュートモードから出て、ミュートをONにする前の状態(ブーストONまたはOFF)に戻ります。

HIRE-WIRE™ DUAL BUFFER/OUTPUT BOOSTは、意図してオーディオ・シグナルパスの最前段と最高段に位置されており、ペダルボードのオーディオ接続に最も一般的な2箇所ですべて接続が出来るよう、コンパクトかつ便利になっています。またデュアルPCBの素晴らしいアナログデザインのおかげで、ペダルライザー(台座)を使わなくてもボード上段右の定位置に高さを持って配置することが出来ます。

コントロールと接続について

ギター機材それぞれの接続を行う際は、電源を切っておくか、少なくともアンプの音量をゼロにしておくほうが良いでしょう。大音量によってスピーカーやその他機材にダメージを及ぼすことを防げます。

最適なギターのトーンを得るには、HIGH-WIRE™ DUAL BUFFER/OUTPUT BOOSTは出来るだけギターの次、そしてアンプの直前に接続することが望ましいです。

注意：ピンテージ・ファズペダルの種類によっては、ギターに直接接続すると異なった動作とサウンドが得られることがあります。理由は、ロー・インピーダンスの信号ソースとは対照的に、ハイ・インピーダンス信号が供給される設計になっているからです。そういった理由から、シグナルパスの最初に接続する必要があるのです。また、それらはトゥルーバイパスにモディファイされているか、またはモディファイされていなくてもトゥルーバイパスのループボックスに接続して、使用しないときは完全にバイパスされるように使用することをお勧めします。

IN: この1/4"フォノジャックは、ギターからの信号を受けるインプット(ジャック)です。またここからディスクリート・クラスAのバッファー回路に入っていきます。

SND: この1/4"フォノジャックは、(SEND)アウトプットで、ディスクリート・クラスAのバッファー回路からのロー・インピーダンス信号を出力します。このジャックは、ペダルボードの最初のエフェクトペダルのインプットと接続します。ミュートがONのときは、このジャックはペダルのインプット信号をミュートしますが、ディレイやエコー、リバーブのような空間系のエフェクトペダルを使用する際にも、急に音量を切るのではなく、自然な感じに次第に小さくすることが出来ます。

RTN: この1/4"フォノジャックは、(RETURN)インプットで、ペダルボードの最後のペダルのアウトプットをここに接続します。またここにはラインドライバー回路が入っています。1/4"プラグが接続されていないときは通常のSENDジャックとなり、インプット信号は両方の回路を通してアウトプットジャックに入ります。

OUT: この1/4"フォンジャックは、ラインドライバ回路からバッファされたロー・インピーダンスを供給するアウトプット(ジャック)です。このジャックとアンプのインプットを、シールドされた1/4"TS 楽器用ケーブルを用いて接続します。

→: この1/4"フォンジャックはチューナーアウトで、常時ONであり、ディスクリット・クラスAバッファ回路からのバッファされたロー・インピーダンス信号を出力します。このジャックにはチューナーのインプットを接続します — シグナルチェーンからは外れた状態となります。

注意: 1/4"TS(チップ & スリーブ)のシールドケーブルを使用する際は、出来るだけ品質が高く短めのものを選ぶようにして下さい。

9VDC INジャック: この標準メス型DCレセプタクルは外部パワーサプライ
この標準メス型DCレセプタクルは外部パワーサプライジャックで、センターマイナスの2.1mm x 5.5mmオス型プラグの標準9VDC電源アダプター
またはユニバーサルタイプのペダルボード・パワーサプライを接続可能です。
その他、"仕様"の項目も参照下さい。

注意: (外付け)電源アダプターは付属していません。

警告: 必ず9VDC センターマイナス2.1mm x 5.5mmバレルプラグタイプのものをご使用ください。ACアダプターやその他間違ったアダプターを使用すると故障の原因となり、保証対象外となりますのでご注意ください。

STOMPスイッチ: この2つの機能を持ったストンプスイッチは、レベル設定可能なブースト機能の他に、サイレント・チューニングやギターを交換する際のミュートスイッチにもなります。ブーストを行うには、まずBOOSTノブでレベル設定を行ってから、ストンプスイッチを1回踏むと、青色LEDが点灯しブーストがONになります。ストンプスイッチをもう1回踏むとOFFになります。ミュートをONにするには、ストンプスイッチを踏み込んだ状態でそのまま約1秒ほどホールドします。赤色のMUTE LEDが点灯するとミュ-

MUTE LED: この赤色LEDが点灯しているときは、ミュート機能がONになっていることを示します。

BOOST LED: この青色LEDが点灯しているときは、ブースト機能がONになっていることを示します。

BOOSTノブ: アウトプット・ラインドライバ回路から出力されるブーストレベルの量を調節します(ユニティー～+22dBまで)。

LEVEL COMPスイッチ: このミニトグルスイッチは、アウトプット・ラインドライバからの信号を+3dB(固定)ブーストします(信号ロスや、様々なギターを使用する場合の音量の補填を行います)。

FAQs(よくある質問)と役立つヒント

Q1. HIGH-WIRE™ DUAL BUFFER/OUTPUT BOOSTはベースにも使えますか？

A1. はい、使えます！

Q2. スイッチング電源アダプター(SMPS)を使用すると、高音のノイズのようなものが聞こえるが、何故ですか？

A2. スイッチング電源アダプターの中には他と比較してノイズが多いものがあり、特にそれらは信頼のおけるまたは著名なブランドものではないことが多くあります。もう1つの理由として考えられるのが、1つの電源からたくさん機器に電源を供給しているということがあります。スイッチング電源アダプターの多くは高電流出力で複数の機器に電源供給が可能ですが、それによってノイズが増えてしまうことがあります。そのような場合は、より優れた他のパワーサプライ(例えば、ペダルボード上で全ての製品に個別に電源供給のできる、独立したアウトプットのあるユニバーサルタイプのもの)を使用することをお勧めします；そのほうがよりパワーがあり、ノイズが少なく良いトーンが得られます。

Q3. ギターとHIGH-WIRE™ DUAL BUFFER/OUTPUT BOOSTとの間に接続可能なケーブルの最大の長さは？

A3. ギターとバッファの間には、出来る限り高品質かつ長さの短い、シールドされた1/4"TSプラグの楽器用ケーブルを常に使用するようにして下さい。ですが、ゼロ・キャパシタンスは理想的でも、また現実的でもないことを理解下さい。ピックアップというものは、ケーブルの長さやギターのアウトプットのキャパシタンスを想定して設計することは不可能とって間違いありません。一定量のケーブルのキャパシタンスは問題なく、かつ必要なものです！ 我々はそれを消し去ろうとしているのではなく、むしろコントロールして予期しない変化を防ごうとしているのです。ですのでもし余裕があれば、色々なブランドまたは長さのケーブルを試し、ベストなトーンが得られるまで調整してみてください！ フリーサイズのケーブルの長さがあるわけではないのですが、概して言えばより短いケーブルのほうがよりきらびやかなトーンが得られ、長めだとよりダークなトーンとなります。繰り返しますと、キーになるのはトーンの一貫性であり、もし欲しいトーンが決まったら常に同じ長さのケーブルを使用して下さい。

Q4. ビンテージのファズペダルを使用したいのですが、バッファー信号にはうまく機能しないと聞きました。本当ですか？

A4. これらのペダルをギターに直接接続すると、通常使用時とは異なった動作とサウンドになります。理由は、ロー・インピーダンスの信号ソースとは対照的に、ハイ・インピーダンス信号が供給される設計になっているからです。そういった理由から、シグナルパスの最初に接続する必要があります。また、それらはトゥルーバイパスにモディファイされているか、またはモディファイされていなくてもトゥルーバイパスのループボックスに接続して、使用しないときは完全にバイパスされるように使用することをお勧めします。

Q5. MUTE回路は、HIGH-WIRE™ DUAL BUFFER/OUTPUT BOOSTのどこにあるのでしょうか？

A5. MUTE回路はSENDジャックに位置しています。これによって、ディレイやエコー、リバース等の空間系のエフェクトペダルを接続しても、音途切れのない自然なエフェクトが得られます。

Q6. HIGH-WIRE™ DUAL BUFFER/OUTPUT BOOSTを使用する際に接続するケーブルの最大の長さは？

A6. ステージ上のアンプに接続するケーブルの長さは20～100FT(約6m～30.5m)以内であれば問題ありませんが、特に長さが最大という場合はケーブル自体の構造による品質、または機材が使用される場所の騒音レベル次第となります。我々が様々なケースにおいて言及しているように、1/4" TS楽器用ケーブルを接続する際は、常により良い品質で、出来る限り短いケーブルを使用するようにして下さい。

Q7. HIGH-WIRE™ DUAL BUFFER/OUTPUT BOOSTを、2台のアンプとチューナーに接続するための3ウェイ・スプリッター(分配器)として使用可能ですか？

A7. 確かに可能なのですが、注意しなければいけないのは、ある環境においてはSENDやTUNERアウト(ジャック)は、OUTPUTジャックほど安定していない(ノイズの影響を受けやすい)ということです。加えて、SENDやTUNER、OUTPUTジャックは独立したトランスではないため、1台のアンプの前にCLEARLINK™ CONVERTER/ISO TRANSFORMERを接続して、複数のアンプ接続時に生じるグラウンドループによるハムノイズを除去する必要があります。

Q8. 信号の分配またはグラウンドループを排除するために、アウトプットにアイソレーション(独立型)トランスはないのでしょうか？

A8. いくつかの理由により、アウトプットにアイソレーション・トランスを設けていません；(理由1)実際、長いケーブルの取り回しの最後に、特別にデザインされシールドされたオーディオ・アイソレーション・トランスを設けた方が、ノイズ耐性や信号品位はずっと優れていますが、最悪の場合でもそれに劣らないという訳です。(理由2)我々は、過去に製造されたバッファースプリッターにおいて、アウトプットのアイソレーション・トランスを皆が有効に活用していなかったと認識していますので、素晴らしくかつ高価なトランスを装備し値段に反映する代わりに、パッシブのCLEARLINK™ CONVERTER/ISO TRANSFORMER(別売)をラインナップしました。(理由3)最も大事なHIGH-WIRE™ DUAL BUFFER/OUTPUT BOOSTの目的は、どのような機材、ギター、アンプにおいても、インプット・バッファースプリッターとアウトプット・ラインドライバのそれぞれで安定した抵抗とソースを持つことによって、2つ共に安定を得ることでした。(理由4)ペダルボードの大きさを考えると一特別にデザインされシールドされたオーディオ・アイソレーション・トランスは小さくないため、いかなるサブ・コンパクトバッファースプリッターも置く場所はないと思います。(理由5)最後になりますが、私たちの経験では、多くのプレイヤーは信号分配から始め、それからすぐに、信号の分配と、それぞれのアウトプットを独立してON/OFFできる機材を必要とするようになります。

SPECIFICATIONS:

- ・ Input Impedance : 1M Ohm
- ・ Output Impedance : 150 Ohm
- ・ Input Buffer Design : Discrete Class-A (MESA Stowaway™)
- ・ Output Buffer Design : High-Speed, Low Noise Op-Amp (MESA Clearlink™)
- ・ Nominal Operating Voltage : 9VDC
- ・ Maximum Operating Voltage : 12VDC
- ・ Typical Current Draw : 55mA @ 9VDC
- ・ DC Adapter(別売) : WARNING!!! パワーサプライには必ず9VDC センターマイナス2.1mm x 5.5mmバレルプラグタイプのものご使用ください。間違ったアダプターを使用すると故障の原因となり、保証対象外となりますのでご注意ください。
- ・ Weight: 337g
- ・ Dimensions (W x D x H) : 63 x 114 x 52 mm

* 注意：継続的な改善のためすべての仕様は予告なく変更されることがあります。

MESA/BOOGIE[®]

The Spirit of Art in Technology[™]



ギブソン・ブランズ・ジャパン株式会社

Email: service.japan@gibson.com

「@gibson.com」からのメールを受信できるよう設定をお願いいたします

お電話でのお問い合わせ窓口：0120-189433（通話料無料）

受付時間 9:30 - 17:00（土、日、祝日、年末年始を除く）